

15年度第2四半期(累計) 決算説明資料

2015年11月5日

沖電気工業株式会社

※億円単位の数値の表示方法について:

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

本日のご説明内容

1. 第2四半期累計期間決算
 - 1-1) グループ概況
 - 1-2) セグメント情報
 - 1-3) 営業利益の変動要因
 - 1-4) P/Lの概要
 - 1-5) B/Sの概要
 - 1-6) キャッシュフローの概要

2. 通期業績予想
 - 2-1) 通期業績予想の修正
 - 2-2) 今後の見通しについて

グループ概況

前年同期比58億円減収、30億円減益
プリンターを除いて概ね計画通り

(単位:億円)	15年度		前年同期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報通信	1,339	37	1,381	32	▲42	+5
プリンター	591	▲5	616	40	▲25	▲45
E M S	206	8	202	6	+4	+2
その他	95	22	89	16	+6	+6
消去・本社費	—	▲26	—	▲28	—	+2
合計	2,230	36	2,288	66	▲58	▲30

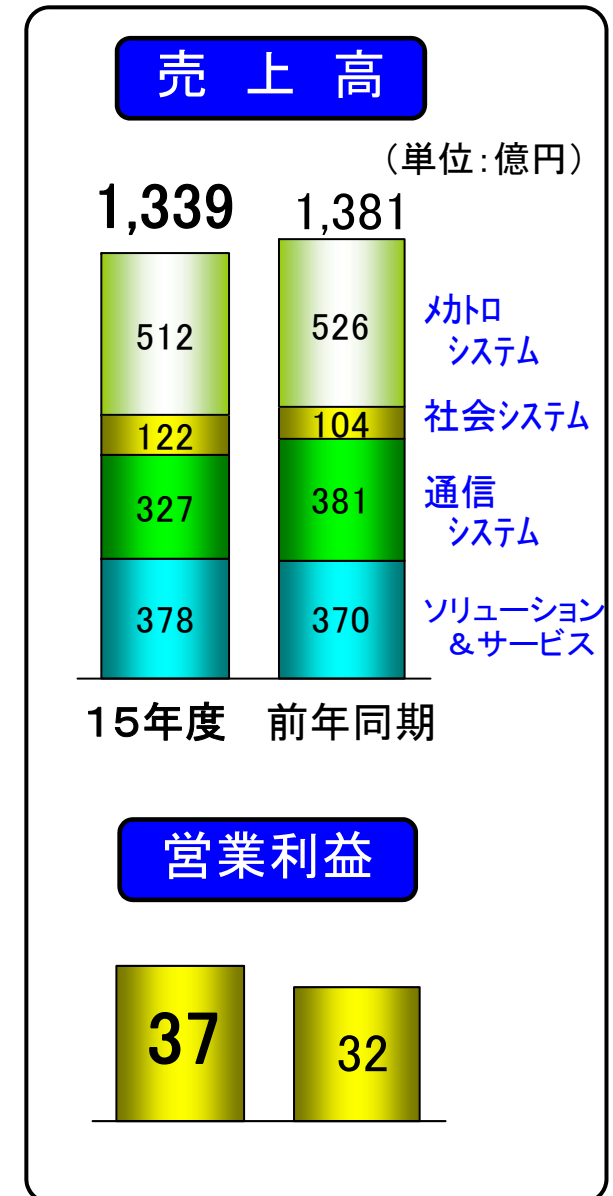
セグメント情報【情報通信】

■売上高:前年同期比42億円減収

- ▶ ソリューション&サービス:
金融向け、法人向けが順調
- ▶ 通信システム:
キャリア向けが減少するものの計画通り
- ▶ 社会システム:
道路交通関連や市町村防災が順調
- ▶ メカトロシステム:
中国向けATMは販売パートナーへの売上が減少
ブラジルは売上減、国内は現金処理機が好調

■営業利益:前年同期比5億円増益

物量減はあるものの固定費の削減などにより増益



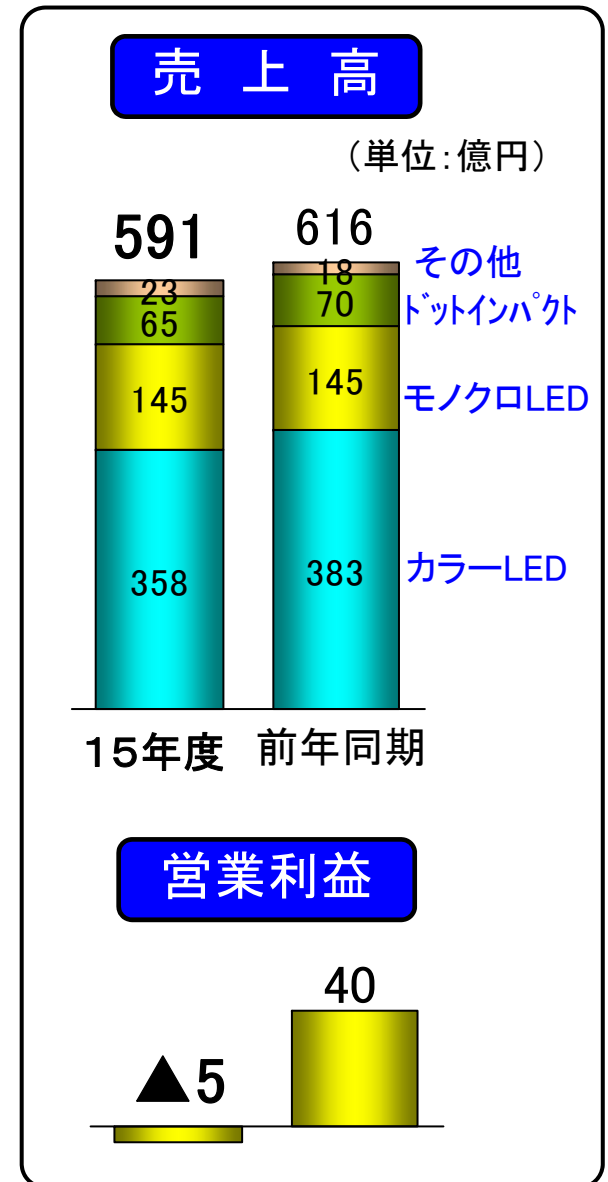
セグメント情報【プリンター】

■売上高:前年同期比25億円減収

- ▶カラーLEDプリンターおよびモノLEDプリンター:
新商品のA3カラーMFPをはじめとする戦略商品の販売は概ね順調なもの、特にカラープリンターの既存商品が欧米など先進国の市場縮小を受けて減少。
加えて、相対的に低価格な商品では競合の価格攻勢に対し、収益性重視の方針から追随しなかったことも影響

■営業利益:前年同期比45億円悪化

物量減や固定費の増加、為替の影響により減



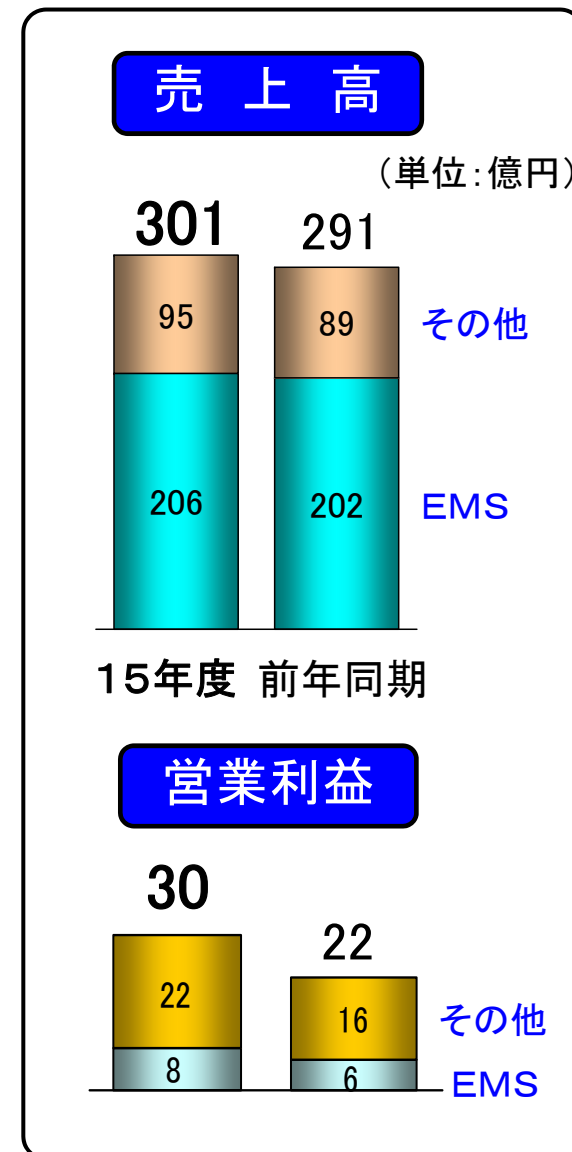
セグメント情報【EMS】・【その他】

■ 売上高

- ▶ EMS:
新規案件の増加やM&A効果などにより増加
- ▶ その他:
リードスイッチなどの部品関連が好調

■ 営業利益

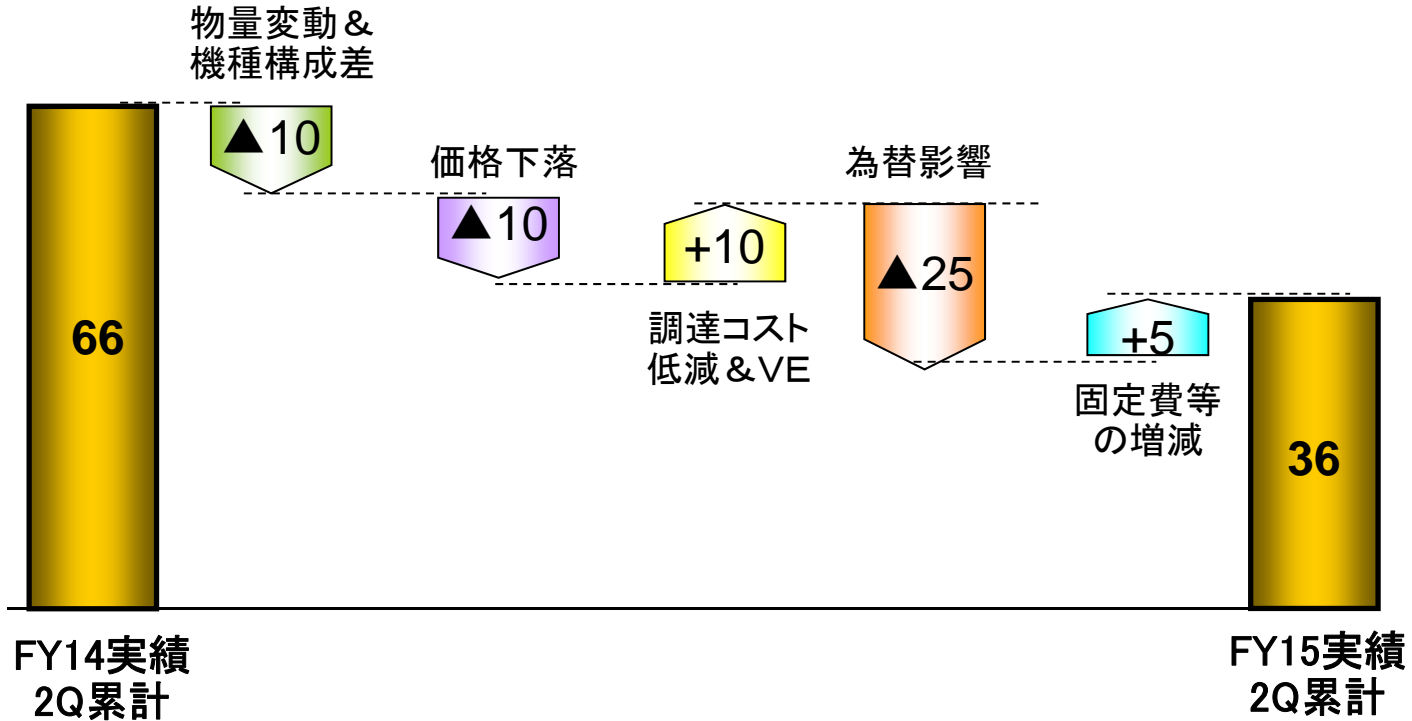
物量の増加や固定費削減効果などにより増益



営業利益の変動要因

■ 物量の減少や為替の影響により減益

(億円)



P/Lの概要

(単位:億円)	15年度	前年同期
売上高	2,230	2,288
売上原価	1,648	1,709
販管費	546	513
営業利益	36	66
営業外収支	△9	30
経常利益	27	96
特別損益	1	△1
税引前利益	27	95
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9	103

【対前年比較】

- 営業外収支は、為替差額が前年同期の差益(+42)に対し、当期は差損(△11)となったことによりマイナス

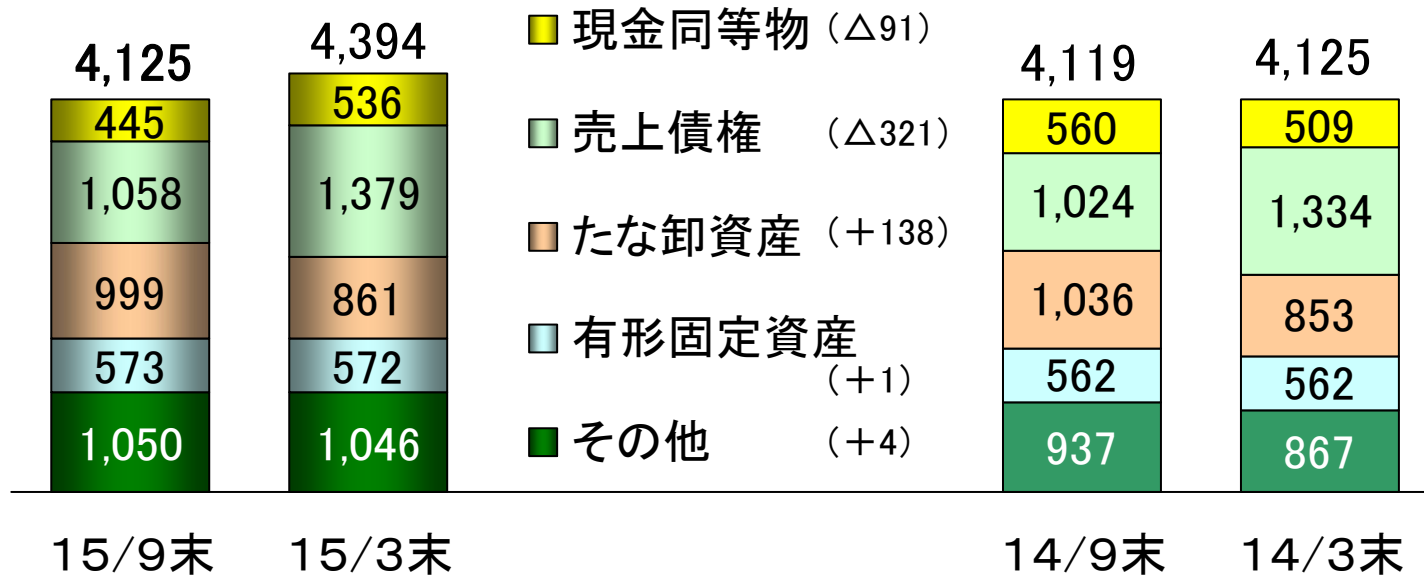
参考	期末日		2Q累計平均	
	15/9末	15/3末	15年度	14年度
USD	120.0	120.3	121.8	103.1
EUR	134.9	130.4	135.1	138.9

B/Sの概要【資産の部】

- 売上債権の減少などにより、総資産は269億円減少の4,125億円
- 現金同等物は91億円減少の445億円
- 各資産の増減はほぼ例年通りの傾向

(単位:億円)

()内は増減

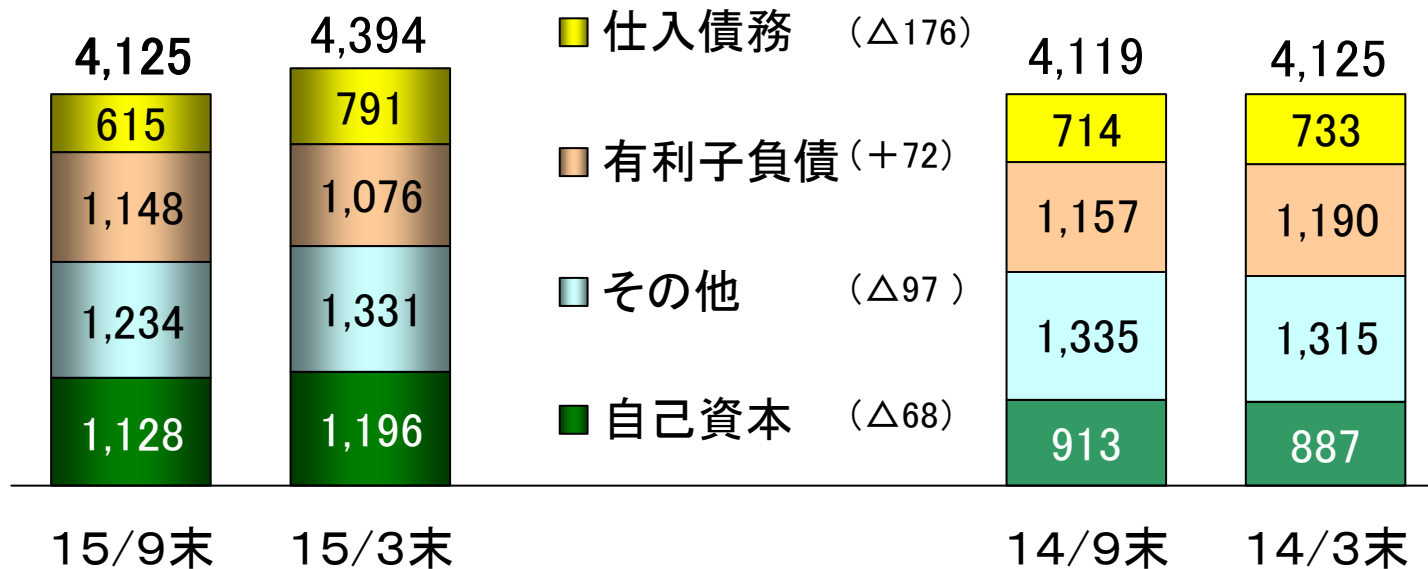


B/Sの概要【負債・純資産の部】

- 自己資本は68億円減少の1,128億円、自己資本比率は27.3%
- 有利子負債は、72億円増加の1,148億円。D/Eレシオは1.0倍

(単位:億円)

()内は増減



キャッシュフローの概要

- 当期利益の減少や運転資金の増加などにより営業キャッシュフローは支出超過
投資キャッシュフローはほぼ前年並み、その結果フリーキャッシュフローは△127億円

(単位:億円)	15年度	前年同期
I 営業キャッシュフロー	△35	230
税金等調整前当期純利益	27	95
減価償却費	69	68
運転資金の増減	△5	122
その他	△126	△55
II 投資キャッシュフロー	△92	△100
設備投資支払額	△65	△51
その他投資活動	△27	△49
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△127	130
III 財務キャッシュフロー	37	△84
キャッシュフロー計(I + II + III)	△90	46

フリー・キャッシュフローおよびキャッシュフロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています

本日のご説明内容

1. 第2四半期累計期間決算
 - 1-1) グループ概況
 - 1-2) セグメント情報
 - 1-3) 営業利益の変動要因
 - 1-4) P/Lの概要
 - 1-5) B/Sの概要
 - 1-6) キャッシュフローの概要

2. 通期業績予想
 - 2-1) 通期業績予想の修正
 - 2-2) 今後の見通しについて

通期業績予想の修正

(単位:億円)	通期業績予想		
	今回	前回公表	修正額
売上高	5,150	5,450	▲300
情報通信	3,200	3,400	▲200
プリンター	1,300	1,400	▲100
E M S	460	460	-
その他	190	190	-
営業利益	170	300	▲130
情報通信	155	240	▲85
プリンター	20	70	▲50
E M S	25	25	-
その他	40	35	+5
消去・本社費	▲70	▲70	-
経常利益	145	280	▲135
当期純利益	100	220	▲120

「業績予想に関する情報」

<情報通信>

- ・中国ATMは既存パートナー向けの出荷停止が継続
- ・ブラジルの景気低迷が継続

<プリンター>

- ・既存商品の価格競争は激化
- ・戦略商品の販売チャネルへの深耕を急ぐ

※下期為替レート

USD 125円 EUR 135円

今後の見通しについて

引き続き中期経営計画2016の経営目標達成を目指す
 ・営業利益率6% ・自己資本比率30%以上 ・DELシオ1倍以下

事業の見通しについて

<情報通信>

- ◆ 国内ビジネスの順調な状況は今後も継続
- ◆ 中国ATMは新パートナーとのビジネスが来年度から本格化
- ◆ ブラジルでは落札した大型案件が来年度から貢献

<プリンター>

- ◆ 新商品を軸に戦略商品を拡大するため、欧米の販売チャネルを支援する体制を強化
- ◆ 医療やデザインなどの特定業種を開拓、ニッチ・高付加価値戦略をより深化
- ◆ 大判プリンター事業買収のシナジー効果によりプロフェッショナル市場での事業を拡大

<EMS>

- ◆ 中期経営計画を上回るペースで順調に推移



Open up your dreams